

は ら から  
**同 胞**

**学校教育目標**

- ・ 規律ある生活と学習 (創造 知)
- ・ 真剣な取り組み (友愛 徳)
- ・ くじけない心と体 (勤勉 体)

**部活動の試合でも、テストでも、「終わって  
からが大事で、その結果をどう生かすか？」**

「緊張に押されて負けた中総体 悔しさばねに  
次こそ勝つぞ」(岐宿中3年: 川谷 功征)

長崎新聞のジュニア歌壇に掲載された生徒の  
短歌です。去年負けた悔しさが、次こそという  
言葉に強く表れています。何事に対しても、こ  
の強い気持ちを持って取り組んでほしいです。

ある中学校のバレーボールの監督さんが「試  
合でも、テストでも終わってから、その結果を  
どう生かすかが大事である」と言っていました。

確かに結果も大事ですが、考えてみるとなる  
ほどだなと思わせる言葉です。私たちは、よ  
く結果に一喜一憂して喜んだり、悲しんだり、  
悔やんだりします。それはそれで当たり前のこ  
とで、自分の感情を素直に表現できることは大  
変素晴らしいことだと思います。

私たちは、過去と現在と未来の流れの中で生  
きています。未来には夢や希望があります。そ  
して、夢や希望を叶えようと誰もが自分なりに  
努力をします。そんな時、いろいろな「結果」  
を参考にして、今後の方向性や取組方を考えて  
いきます。「終わってからが大事」というのは、  
すなわち何事も結果をどう生かすかで、伸びも  
するし、後退もするという事ではないでしょ  
うか。

生徒のみなさん、中総体陸上大会が終わりました。  
2週間後の6月18日(木)、19日(金)  
には期末テストがあります。今年度の学校の努  
力目標は「平均3点アップ」です。まずは、自  
分にあった計画を立て、これまでの経験や結果  
を生かして、前進できるよう努力してください。

努力をする人は希望を語り、怠ける人は  
不満を語る (作家 井上 靖)

夢を持ち、その夢に向かって努力をする  
人は高い理想を語るができる。しかし、  
怠けている人は、自分は努力をしないで、  
他の人のせいばかりする。

**第1回学校支援会議が開かれました**

◎学校支援会議とは……中学校の教職員、保護者、  
地域の方々の代表が集まり、子どもの生活や学習、  
遊び方などについて、地域で具体的な目標を共有し  
て協議・協働する組織です。長崎県では、全ての公  
立小学校と中学校で設置されています。

地域の各代表(学校評議員、公民館、警察、育成  
協、補導員、民生委員等)の方々に集まって頂き  
話し合いをしました。「地域の子どもは地域で育て  
よう」をテーマに、生徒の学校での生活や学習の様  
子、地域での生活や遊び方、自転車の乗り方などに  
ついて各支援員さんと意見交換をしました。

**【意見交換の概要】**

①生徒の地域での非行や問題行動等については、特  
にありませんということでした。

②自転車の乗り方で危ない時があるので、気をつけ  
てください。注意すると生徒は素直に聞いてくれる。  
(信号無視、並列走行、下り坂でのスピードの出し  
過ぎ、一時停止など)

③子どものインターネット等のメディアの使い方  
に、十分注意してほしい。

④自転車の新ルールが施行されたので、内容を確認  
して乗るようにしてください。

⑤生徒の下校する時間帯に、警察の方に巡視をして  
ほしい。声かけ事案等の発生が怖い。

⑥生徒は、あいさつもよくしてくれる。生徒の表情  
が明るい。運動面での活躍をよく耳にするなど肯定  
的な意見がたくさん出ました。岐宿の子どもは岐宿  
町全体で見守っていこうという雰囲気が感じられ  
とても嬉しく思いました。裏面に「子どもたちへのメ  
ッセージ(長崎県教育委員会)」を掲載しています。

**「岐宿っ子の心を見つめる教育週間」について**

今年度は、6月25日(木)14:00~「e-ネット  
キャラバン」の講師を長崎から招いて、生徒と保護  
者にメディアに関する話をしてもらおうようにしてい  
ます。3小学校の保護者にも案内していますので、  
岐宿町の方も、どうぞご来校ください。